

二酸化炭素消火設備による 死傷事故が発生

二酸化炭素消火設備の誤操作や誤作動による死傷者を出す事故が発生しています。

- 愛知県名古屋市内の立体駐車場での事故（令和2年12月発生）
- 東京都港区内の地下駐車場での事故（令和3年1月発生）
- 東京都新宿区内の地下駐車場での事故（令和3年4月発生）

二酸化炭素の人体への影響は？

二酸化炭素には毒性（麻酔性）があるため、高濃度のものを人が吸うと意識を失い、死に至る危険性があります。

二酸化炭素消火設備を設置している建物の関係者は裏面の注意事項を確認してください！



東大阪市消防局

1 二酸化炭素消火設備のメンテナンスや その付近で工事を行う場合

次の2点を作業する人に守るよう伝え、作業を行わせる。

- ①誤作動や誤放出を防ぐため、二酸化炭素消火設備を熟知した消防設備士や消防設備点検資格者を立ち会わせるなど、作業時の安全を確保する。
- ②二酸化炭素消火設備の閉止弁を閉止する等の措置を講じた上でなければ工事等を開始しない。

2 消火設備作動時の対応

- ①二酸化炭素消火設備を誤って起動させた場合は、非常停止ボタンを押す。
- ②二酸化炭素消火設備の消火剤が放出された場合には、すぐに119番通報をして、二酸化炭素消火設備の設置部分や隣接部分に人を立ち入らせない。

二酸化炭素消火設備に関して不明な点等ございましたら、
管轄の消防署までご相談ください。



東大阪市消防局

